



第1回常任理事会開催 オンライン併用で

～「国葬」に反対する声明文を採択～

定期大会が6月12日(日)におこなわれ、年間の方針や予算が決まりました。7月30日(土)には第1回常任理事会を開催し、当面の課題や方針について議論し、決定しました。通常の出席とオンラインを併用した初めての会議になりました。オンライン参加は木村泉代表理事と石井明常任理事の2人。リアル参加は8人でした。音声、映像ともトラブルなく、スムーズに進行しました。

神原要(水戸西)さんが議長に選出され、木村さんの開会あいさつ「『コロナの第7波が猛威を振るっています。お互いに身体を大事にしながら、焦らず、たゆまず、力を合わせて、取り組みを進めていきましょう』」から始まりました。篠原睦事務局長から「定期大会を振り返って」「ロシアによるウクライナ侵略」「土地利用規制法学習会」「故安倍元首相の国葬問題」「沖縄県知事選」「秋の宣伝行動」「仲間を増やす取り組み」などについて提案がありました。

■「戦争と平和展」、「ロシアのウクライナ侵略反対」の取り組み!

ロシアによるウクライナ侵略からすでに5か月以上が経っています。小中学生、高校生にも、平和運動に参加してもらいたいと思う「戦争と平和展」開催が、各地域の会員の長年の努力によって、自治体や教育委員会の後援を得られるようになってきました。小中学校に平和展の案内チラシを配るところも増えてきました。そのこともあってか、親子連れの見学も増え、アンケートの参加も増えています。

私立高校でもチラシを配ってもらえるようになるなどの取り組みも進んでいます。さらにスタンディング等運動での「見える化」が必要です。JR勝田駅前での行動では、高校生がカンパをしてくれました。どのような街頭スピーチをするかなど、さらなる工夫が求められています。

■秋の宣伝行動は、「ウクライナ侵略やめろ」や「改憲反対」をメインに!

秋の宣伝行動は、ウクライナ戦争や憲法改正問題をメインにします。チラシの印刷枚数は、4万枚と報告しました。各地域平和の会で、何枚のチラシが必要かを決めて事務局まで連絡して下さい。

意見では、「『人は見た目が9割』という本を読んだが、キャッチコピーが重要だ。」「『憲法守れ』ではなく、別の言葉を作ってもらいたい。」「今、暗中模索しているが改憲阻止を中心に活動を進めたい。」「憲法改悪を許さない、目に訴えるようなチラシを!」などの声が出されました。

■沖縄県知事選は玉城デニー県知事の再選に向け新聞意見広告と選挙カンパを!

沖縄県知事選の告示は8月25日、投開票は9月11日です。「オール沖縄」から立候補する玉城デニー県知事の再選のために、新聞意見広告と選挙カンパ賛同のお願いを取り組むことを決めました。参議院選挙では野党と市民が推した伊波洋一氏が僅差で勝利しましたが、知事選は非常にきびしい状況です。「基地のない平和な沖縄」の実現のためにも、日本の未来にとっても負けれない選挙です。

■会員800人を早期に実現しよう!

仲間づくりでは、会員800人まで、あと14人です。あと9人までという時もありましたが、亡くなった人もおり、目標達成がなかなか難しい状況です。常陸太田平和の会では、7月16日(土)の総会翌日、知人宅を訪問し、入会していただきました。運動や学習などを通して会員になってもらうことが大切です。

■最後に、故安倍元首相の「国葬」に反対する声明文を採択し、閉会となりました。声明文(裏面参照)は首相官邸や茨城新聞等に送付します。各平和の会でも送付をお願いします。

投稿

「平和かわら版」が待たれるようなアイデアを

伊達 比佐子(内原平和の会)

最近の平和かわら版の執筆者が事務局長の篠原さんばかりでは、ちょっと大変すぎるのではないのでしょうか。かわら版は日本平和委員会が出している新聞に合わせて発行されるので月に3回の原稿集めに追われることは知っていました。毎週毎週頭を悩ませていると思います。一本釣りと言ったってなかなか全部の会員を知っているわけではないと思います。

じゃどうしたらいいの?やっぱり会議にかけていいアイデアを出してもらい以外にないと思います。常任理事会の議題(「平和かわら版」の位置付け、分担等)に上げてじっくり話し合ってくださいよう要望します。紙の大きさがB4からA4に変わり紙面は小さくなったのですから、各平和委員会で担当するとか、一定のテーマでの紙面とか、いろいろな人の考え、新しい人の思い、とか、「かわら版が待たれるようなアイデア」がでるといいなあとと思っています。

県平和委員会 常任委員会声明

故安倍元首相の「国葬」の閣議決定に強く抗議し、撤回を求める

内閣総理大臣 岸田文雄 様

2022年7月30日

岸田政権は、7月22日、広く国民の声を聞くこともなく、国会での十分な審議と説明もないままに、故安倍元首相の「国葬」を強行する閣議決定を行った。

私たちは、参議院選挙の遊説中に銃撃され非業の死を遂げた安倍晋三元首相に心から哀悼の意を表するものである。しかし銃撃事件の容疑者の動機は、旧統一教会（世界平和統一家庭連合）への恨みと報じられており、まず政治家と宗教団体の関係について明らかにされることが必要と考えている。

「国葬」に関する法令上の規定はなく、「閣議決定」という政府の判断だけで決定し、全額国費で負担することは、安倍氏の政治を美化し、故人への賛美を民に強要することにほかならない。国民に対して弔意を事実上強制することにつながり、憲法第19条「思想・良心の自由」、内心の自由を侵害するものである。

安倍氏は、日本国憲法を無視し、集団的自衛権行使容認の閣議決定に続き、「安保法制＝戦争法」を強行採決して

「戦争する国づくり」をすすめた。森友・加計学園問題では権力を私物化し、桜を見る会では虚偽答弁を118回もするなど、国会を軽視、政治の劣化を招いた。

さらに、安倍氏は首相退任の際に、「軍事力の抜本的強化」や「核共有論」まで言及している。岸田首相は「安倍氏の遺志を継承する」と言って「防衛費のGDP比2%化」や「敵基地攻撃能力の強化」など、改憲と大軍拡路線に突き進もうとしている。このような「戦争する国づくり」を強行した安倍政治を引継ぐことに対して、立憲野党はもちろん市民団体や個人からも反対の声が多数上がっている。「国葬」を政治的に利用することは、許されない。

茨城県平和委員会は、常任理事会の名において、岸田政権による故安倍元首相の「国葬」実施の閣議決定に強く抗議し、撤回を求める。

茨城県平和委員会常任理事会

県平和委員会
事務局から

各平和の会・平和委員会でも参考にして、抗議文等を送付してください。

共同通信社が30日、31日両日に実施した全国世論調査では、「安倍氏国葬反対53%、内閣支持率急落51%」でした。

続けよう!
ロシアのウクライナ侵略
反対抗議行動 7/19・28

小説家で軍医総監だった森鷗外（1922年7月9日没60歳）のエピソードに、次のよう



なものがあります。部下に戦争の感想を聞かれ、鷗外は「強いていうならば悲惨の極」と答えています。

「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」は7月1日、水戸駅北口でスタンディング行動をおこないました。この日で146日目。ロシア軍は、ウクライナ東部や南東部各地で激しい空爆を継続していると報道されています。

19日は、田中重博会長、岡野一男茨城労連事務局長など6人が参加しました。田中会長は、参議院選の結果にも言及しながら「憲法9条にもとづく平和外交こそ、日本を守ることになる」と訴えました。28日（木）は、しんぶん赤旗の高橋誠一郎記者が取材に見えました。写真は、高橋記者が撮影したものを掲載します。当日は4人の参加でした。

次回は8月24日（水）水戸駅南口12時～13時を予定して

います。この日は、ウクライナ戦争から6か月、そしてウクライナの独立記念日です。各地域でもスタンディングや抗議行動に取り組みましょう!

短歌を紹介します。作は茨城労連事務局長の岡野一男氏。茨城新聞「歌壇」（7/10付）に掲載されました。「壊された街、人、歴史 ウクライナ 「春望」 杜甫の怒りあふれる」

.....

8月24日（水）全県各地のスタンディング等を提起します

1945年8月6日と9日、人類史上はじめて核兵器が使われ、世界史に残るもっとも悲惨な敗戦から77年目の夏を迎えます。明治政府が1868年に樹立されてから1945年8月の敗戦までが77年。同じ77年と言っても、平和主義を原則とする日本憲法下では、日本が戦争に巻き込まれることはありませんでした。

守谷平和の会、もりや9条の会、新婦人守谷支部、日本共産党守谷支部、守谷市職、守谷市議会有志によって「戦争いやだ 平和がいいね 守谷市民の会」が結成されました。市民の会は、7月31日（日）午後5時から6時の間、守谷駅前294号交差点にてスタンディングを実施。この日の参加は15人でした。次回は9月13日（火）とのことです。

8月24日（水）は、ロシアによるウクライナ侵略から半年です。県平和委員会は、水戸駅南口において正午から1時間、スタンディングに取り組みます。24日はウクライナの独立記念日。県内各地で、抗議集会等を計画しましょう。